

---

# IBM i PTF インストール説明書

IBM i 累積 PTF パッケージ  
インストール説明書  
SF99710 レベル 17192  
パッケージ ID: C7192710  
バージョン 7 リリース 1.0

累積 PTF パッケージ説明書 最終更新日: 07/28/2017

注: この資料は、オンライン版がマスターです。印刷されたものは最新版でない可能性がありますので、最終更新日がオンライン版のマスターと一致しない場合は使用しないでください。

この資料に記載されている情報は、この累積 PTF パッケージが利用可能になった時点の内容です。最新の情報 (必要な場合は、より詳細なインストール手順のバージョンを含む) を入手されることをお勧めします。最新の情報は、次の URL にあります。

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas8N1021657>

PSP SF98710 には、この累積 PTF パッケージに含まれていない HIPER PTF や、このパッケージのリリース後に見つかった障害の PTF のリストがあります。

次の 3 つのフォーマットの累積 PTF パッケージから 1 つを選択します。

- 個々の PTF 保管ファイルとして電子的にダウンロードする
- 光イメージ・ファイルとして電子的にダウンロードする
- 物理的な CD メディア (電子的にダウンロードできない場合)

この文書のインストール手順では、それぞれのフォーマットに必要なインストール手順を説明してあります。

## PTF カバー・レターの確認

すべての PTF のオーダーに関して、必ず PTF をインストールする前に、提供される各 PTF のカバー・レターに目を通し、ご使用のシステムに該当する特別な指示事項をご確認ください。お客様が累積 PTF パッケージをオーダーされた際には、自動的に最新の HIPER PTF グループおよびデータベース PTF グループが、累積 PTF パッケージと一緒に送付されております。お客様は、これらの PTF グループの中で、ご使用のシステムに適用される PTF のカバー・レターをお読みいただく必要があります。PTF カバー・レターのコピーや印刷 (または表示) を行うために必要なコマンドは、下記に記載されています。

1. PTF カバー・レターをコピーするには:

- PTF の入ったメディアをマウントし、QSECOFR などの機密保護担当者ユーザー・プロファイルでサインオンしてください。
- まだシステムに適用されていない PTF のカバー・レターをメディアからシステムにすべてコピーするには、次のコマンドを実行します。

```
CPYPTFCVR DEV(device_name) LICPGM(*ALL) SELECT(*NOTAPY)
```

- 特定のカバー・レターをメディアからシステムにコピーするには、次のコマンドを実行します。

```
CPYPTFCVR DEV(device_name) LICPGM(product_id) SELECT(ptf_id)
```

## 2. PTF カバー・レターを表示または印刷するには:

- PTF カバー・レターを表示、または印刷を行う前に、メディアからコピーする必要があります。
- 現在システムに適用されていないすべての PTF のカバー・レターを表示、または印刷するためには、以下のコマンドを実行します。

```
DSPPTFCVR LICPGM(*ALL) SELECT(*NOTAPY)
DSPPTFCVR LICPGM(*ALL) SELECT(*NOTAPY) OUTPUT(*PRINT)
```

注: DSPPTFCVR コマンドに CVRATR(\*SPCINST) パラメーターを指定して、特別な指示があるカバー・レターをすべて表示することもできます。

- 特定のカバー・レターを表示または印刷するためには、次のコマンドを実行してください。

```
DSPPTFCVR LICPGM(product_id) SELECT(ptf_id)
DSPPTFCVR LICPGM(product_id) SELECT(ptf_id) OUTPUT(*PRINT)
```

- PTF TC17192 は累積 PTF パッケージのカバー・レターであり、この累積 PTF パッケージに入っているすべての PTF のリストを含んでいます。累積 PTF パッケージのカバー・レターを表示するには、次のいずれかのコマンドを入力してください。

```
DSPPTFCVR LICPGM(5770SS1) SELECT(TC17192)
DSPPTFCVR LICPGM(5770SS1) SELECT(TC17192) OUTPUT(*PRINT)
```

## 3. 新規 - 累積パッケージまたはグループ内の PTF についての特別な指示事項を、以下のうちのご都合の良いフォーマットでオンラインで確認することもできます。

- 累積パッケージ: <http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas4C7192710>
- HIPER PTF グループ: [http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas4SF99709\\_SI](http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas4SF99709_SI)
- データベース PTF グループ: [http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas4SF99701\\_SI](http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas4SF99701_SI)

## 注意事項

1. 以下の指示事項に従わないと、システムが作動しないことがあります。累積 PTF パッケージを導入するたびに注意深く指示に従ってください。
2. 累積 PTF パッケージは、適切な PTF の導入後に導入する必要があります。このパッケージを導入する際にすぐに適用するオプションを使用しないでください。使用すると、予測できない結果が生じることがあります。
3. PTF 重要情報: この累積パッケージのPTF を適用した場合に、IBM®トランスレーターで生成されていないシステム・メモリー・アドレスを使用するような非効率なプログラムや、対話型処理能力を購入時レベルに制限する制御技術を回避するプログラムが、使用できなくなる可能性があります。これらの PTF は、将来別の PTF の前提条件になる可能性があります。これらのPTF を適用する場合、お客様は以上のことを認め、同意されたものとしします。
4. これらのPTF はすべて、適用されるプログラムに付帯する、もしくは含まれている、使用許諾契約書の対象となります。有効なライセンス証書を保持するプログラムの一部としてPTF を使用する以外に、これらのPTF をインストールもしくは使用することは認められておりません。

強行法規がある場合を除き、また、該当する使用許諾契約書あるいは該当するサポート契約書において明示的に合意されている場合を除き、IBM は、PTF について、法律上の瑕疵担保責任を含め、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証を含む明示もしくは黙示のいかなる保証責任も負わないものとしします。

適用される使用許諾契約書は、印刷物として提供されているか、もしくは「ソフトウェア契約の処理 (WRKSFWAGR)」 CL コマンドを使用して表示することができます。

5. 製品がインストールされていて、PTF (またはその置き換え PTF) がまだ適用されていない場合は、このパッケージに入っている以下の PTF についての特別な指示事項をご確認ください。注: PTF のカ

パー・レターは以下で参照できます。

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas3PPPPPPP> (ここで、PPPPPPP は PTF 番号です)。

- 5761DP4-SI36668

6. 重要 - この累積パッケージ (本パッケージに標準装備される HIPER/Database PTF グループのボリューム・セットなど) をインストールする際に、LIC (Licensed Internal Code) PTF MF58350 または PTF MF58574 (修正 PTF MF58616 なし) を現在適用していても追加の PTF ボリューム・セットをロードする場合は、まず PTF 5770999-MF58616 を保管ファイルとしてダウンロードし (SNDPTFORD または Fix Central のオプション「個別のフィックスをダウンロード」経由)、それを Device \*SERVICE からインストールする必要があります。そうすると追加のボリューム・セットのロード中に OPT1815 エラーが発生しません。

7. PTF のインストールの失敗を回避し、追加の必須 IPL を自動化するには、この累積 PTF パッケージをインストールする「前」に PTF SI46137 をアクティブにしておく必要があります。PTF SI46137 がアクティブであるかどうかを判断するには、以下のコマンドを入力します。

```
DSPPTF LICPGM(5770SS1) SELECT(SI46137)
```

状況が「一時的に適用済み」または「永続的に適用済み」の場合は、PTF はアクティブです。状況が「置き換え済み」の場合は、置き換える PTF が「一時的に適用済み」または「永続的に適用済み」であることを確認します。PTF SI46137 が見つからないとき、またはアクティブでないときは、まず SI46137 とその前提条件を保管ファイルとして電子的にダウンロードします。そして、この累積 PTF パッケージをインストールする「前」に、GO PTF オプション 8 を使用して、装置 \*SERVICE から PTF SI46137 を一時的に適用します。

8. 5770BR1 はインストール済みであっても、PTF 5770BR1-SI64249 がまだ適用されていないシステムでは、この PTF はインストールの開始時に即時モードで自動的に事前適用されます。その場合には、「この PTF の適用中は、すべての BRMS アクティビティを停止します。PTF の適用後は BRMS を使用する前にサインオフして再びサインオンする必要があります」という、この PTF に特別な指示事項を遵守してください。

9. Content Manager OnDemand - 5770RD1 - ユーザーに対する重要な注意事項: Content Manager OnDemand - 5770RD1 - をインストールした場合は、重要かつ特別な指示事項の記載がないか、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21427866> を確認してください。

10. PTF 5770999-MF99008 が「永続的に」適用もされず、「永続的に」適用された PTF で置き換えられもしない場合は、PTF 5770999-MF99010 以上のインストールに利用できる十分な IPL ストレージが確保されていない可能性があります。PTF インストールが CPF362C (Insufficient storage for Licensed Internal Code fix (ライセンス内部コード修正用のストレージが足りません)) で失敗しないようにするため、この累積 PTF パッケージをインストールする前にライセンス内部コード (LIC) レベル "RS 710-N" (2015 年 5 月) を復元してください。LIC の復元方法に関して何か質問があれば、お客様のサービス・プロバイダーにお問い合わせください。注: この累積 PTF パッケージに含まれていない LIC PTF がお客様のシステムに存在する場合は、LIC の復元後にその PTF を再インストールする必要があります。さらに、この問題のために LIC を復元した場合は、PTF SI43588/SI47010 に関する以下の指示は不要となります。復元の目的は、復元した LIC に既に含まれている一連の LIC PTF を永続的に適用することにあるからです。

11. PTF SI43588 の機能は、ライセンス内部コード修正をインストールするのに十分なスペースがシステムに存在することを確認します。この累積 PTF パッケージをインストールする「前」に、PTF SI43588 がアクティブになっている必要があります。以下のコマンドを入力して、PTF SI43588 がアクティブかどうかを判別してください。

```
DSPPTF LICPGM(5770SS1) SELECT(SI43588)
```

状況が「一時的に適用済み」または「永続的に適用済み」の場合は、PTF はアクティブです。状況が「置き換え済み」の場合は、置き換えるPTFが「一時的に適用済み」または「永続的に適用済み」であることを確認します。PTF SI43588 が見つからないか非アクティブな場合、置き換える PTF SI47010 とその必要条件を保管ファイルとして電子的にダウンロードし、この累積 PTF パッケージをインストールする「前」に、SI47010 を一時的に適用します。

12. EXP24S SFF Gen2-Bay ドロワー (フィーチャー #5887) が接続されているシステムの場合は、すべて、以下を参照してください。  
<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas8N1020265>
13. この累積PTF パッケージを物理的なCD メディアとして受け取った場合は、メディアからイメージ・カタログを作成して仮想光ディスク装置からPTF のインストールを行うことを強くお勧めします。これによりPTF のインストール中に複数のIPL の実行を回避できる場合があります。
14. この累積 PTF パッケージのインストール時間は、およそ 2 ~ 4 時間です。
15. このパッケージを適用する前に、現行システムのバックアップをとっておく必要があります。最後に PTF をインストールした以降に、システムのバックアップがとられていれば、そのバックアップを使用できます。
16. A ストレージ領域で実行している場合、B IPL ソースから通常の IPL を実行します。実行元のストレージ領域を判別するには、DSPPTF 5770999 と入力して Enter キーを押します。「PTF 状況表示」画面の IPL ソースのフィールドにストレージ領域が示されます。##MACH#A は A ストレージ領域、##MACH#B は B ストレージ領域です。
17. 制御パネルで IPL モードが通常 (N) に設定されていることを確認してから、QSECOFR などの機密保護担当者ユーザー・プロファイルでサインオンします。
18. どの手順もいったん開始したらキャンセルしないでください。各手順が正常に完了するようにしてください。
19. ご使用の累積 PTF パッケージのフォーマットに合わせて、以下のインストール手順から適切なものを選択してください。
20. PTF のインストール処理では、5770SS1-SI50907、5770SS1-SI47250、5770SS1-SI39782、5770999-MF58517、5770999-MF56192、5770999-MF51908、5770BR1-SI64249、および 5770DG1-SI48830 の各 PTF を適用できる場合には、自動的に事前適用されます。注: 手動での事前適用が必要な PTF は、この『注意事項』セクションの前半にリストされています。

## \*SERVICE からのインストール

累積 PTF パッケージを個々の PTF 保管ファイルとして電子的に受け取った場合、『\*SERVICE からのインストール』セクションで詳細なインストール手順を参照してください。

## 光イメージ・ファイルからのインストール

この手順は、光イメージ・ファイルとして累積 PTF パッケージをオーダーして電子的に受け取った場合に使用してください。

1. イメージ・カタログを作成して、イメージ・ファイルをカタログに追加します。イメージ・カタログの作成方法については、IBM Knowledge Center:  
[http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ssw\\_ibm\\_i\\_71/rzam8/rzam8fixinstallimage.htm](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ssw_ibm_i_71/rzam8/rzam8fixinstallimage.htm) を参照してください。

(IBM i 7.1>IBM i および関連ソフトウェア>IBM i および関連ソフトウェアの保守管理>ソフトウェア修正の使用>修正のインストール>ステップ 3: 修正のインストールのシナリオを選択する>イメージ・カタログからの IBM i 修正のインストール)

2. 次のコマンドを使用して、イメージ・カタログを仮想光ディスク装置にロードします。  
LODIMGCLG IMGCLG(ptfcatalog) DEV(OPTVRTxx) OPTION(\*LOAD)
3. コマンド行に GO PTF と入力し、Enter キーを押します。
4. メニューで、オプション 8 を選択し、Enter キーを押します。
5. 「PTF 導入の続行 (Continue PTF Install)」画面が表示されたら、Enter キーを押します。
6. 下記のオプションが適切かどうか確認し、下記の「注」をよくお読みいただいた上で、「プログラム一時修正の導入オプション」画面でオプションを入力し、Enter キーを押します。

装置 . . . . . OPTVRTxx (例えば、OPTVRT01)  
 自動 IPL . . . . . Y = YES または N = NO  
 媒体のプロンプト . . . . . 1 または 3  
 再始動タイプ . . . . . \*SYS  
 その他オプション . . . . . Y = YES

注: 個別の PTF および/または PTF グループが保管ファイルとして出荷されていて、累積 PTF パッケージと同時にインストールする場合は、「媒体のプロンプト」のフィールドに 3 を入力します。

7. 下記のオプションが適切かどうか確認し、その下の「注」をよくお読みいただいた上で、「その他の導入オプション」画面でオプションの入力を完了し、Enter キーを押します。

PTF の省略 . . . . . N = NO または Y = YES  
 適用のタイプ . . . . . 1 = すべての PTF を遅延にセット  
 PTF タイプ . . . . . 1 = すべての PTF  
 PTF のコピー . . . . . N = No または Y = Yes

注: 前のオプション指定によっては、表示されないフィールドがあるかもしれません。

注: 省略したい PTF がある場合は、「その他のオプション」フィールドに Y を入力し、続いて表示される画面の指示に従ってください。PTF を省略するインストール手順の詳細については、Appendix A のセクションをご参照ください。

8. 画面に、PTF が適用されるライセンス・プログラム名が表示されます。イメージ・カタログにロードされたすべてのボリュームが、自動的に処理されます。
9. 「インストール・プロセスを完了する」のセクションに進みます。

## CD メディアからのインストール

この手順は、物理的な CD メディアとして累積 PTF パッケージをオーダーして受け取った場合に使用してください。

1. 次のコマンドを入力して、Enter キーを押します。

```
CHGMSGQ QSYSOPR *BREAK SEV(70)
```

このステップにより、次のボリュームのマウントが必要であることをシステムが感知した時に、必ず中断メッセージが表示されるようになります。重要 -- システムに適用できる PTF が残りのボリュームにない場合は、他のボリュームのマウントを求めるプロンプト画面は表示されません。

2. 使用しているメディア用の適切なドライブに、C7192710\_01 というラベルの、累積 PTF パッケージ・メディアのボリューム 1 がロードされていることを確認してください。
3. コマンド行に GO PTF と入力し、Enter キーを押します。
4. メニューで、オプション 8 を選択し、Enter キーを押します。
5. 「PTF 導入の続行 (Continue PTF Install)」画面が表示されたら、Enter キーを押します。
6. 下記のオプションが適切かどうか確認し、下記の「注」をよくお読みいただいた上で、「プログラム一時修正の導入オプション」画面でオプションを入力し、Enter キーを押します。

装置 . . . . . OPTxx (例えば、OPT01)  
自動 IPL . . . . . Y = YES または N = NO  
媒体のプロンプト . . . . . 2 または 3  
再始動タイプ . . . . . \*SYS  
その他オプション . . . . . Y = YES

注: 累積 PTF パッケージとともに HIPER およびデータベース PTF グループをインストールするには、「媒体のプロンプト」のフィールドに 2 を入力します。

個別の PTF および/または PTF グループが保管ファイルとして出荷されていて、累積 PTF パッケージと同時にインストールする場合は、「媒体のプロンプト」のフィールドに 3 を入力します。

7. 下記のオプションが適切かどうか確認し、その下の「注」をよくお読みいただいた上で、「その他の導入オプション」画面でオプションの入力を完了し、Enter キーを押します。

PTF の省略 . . . . . N = NO または Y = YES  
適用のタイプ . . . . . 1 = すべての PTF を遅延にセット  
PTF タイプ . . . . . 1 = すべての PTF  
PTF のコピー . . . . . N = No または Y = Yes

注: 前のオプション指定によっては、表示されないフィールドがあるかもしれません。

注: 省略したい PTF がある場合は、「その他のオプション」フィールドに Y を入力し、続いて表示される画面の指示に従ってください。PTF を省略するインストール手順の詳細については、Appendix A のセクションをご参照ください。

8. 画面に、PTF が適用されるライセンス・プログラム名が表示されます。
  - a. 各 CD ボリュームの処理が終了するたびに、次の CD をマウントするようにメッセージが表示されます。指示されたボリュームをマウントして、処理を続行するためにオプション G を入力してください。
  - b. 累積 PTF パッケージの適用可能なボリュームすべての処理が終了すると、自動的に、HIPER およびデータベース PTF グループをインストールするための次のメディア・セットの最初のボリュームをマウントするようメッセージが表示されます。ボリューム・セットの最初のボリュームをマウントして、処理を続行するためにオプション G を入力してください。
  - c. 他のボリュームがあれば、同じようにしてマウントをしてください。ボリューム・セットのすべての処理が終了したら、PTF のインストールを終了するためにオプション X を入力してください。

注: ご使用のシステムに適用できる PTF がボリュームに含まれていない場合、システムはボリュームのマウントを要求するプロンプトを表示しません。

9. 「インストール・プロセスを完了する」のセクションに進みます。

## インストール・プロセスを完了する

この手順でインストール・プロセスを完了してください。

1. 「PTF 導入処理を完了するには、IPL が必要です。」(エスケープ・メッセージ CPF362E) を受け取っている場合、以下を実行します。
  - a. システム上のすべてのジョブを終了し、B IPL ソースに対して通常モードの IPL を実行します。光イメージ・ファイルからインストールしている場合は、次の通常 IPL の完了後まではイメージ・カタログを削除しないでください。
  - b. 「サインオン」画面が表示されたら、ステップ 6 (7 ページ) を続行します。
2. 「技術更新 PTF のための IPL の確認 (Confirm IPL for Technology Refresh PTFs)」画面が表示されたら、以下を実行します。

- a. F10 キーを押してシステム上のすべてのジョブを終了し、IPL を実行します。注: IPL をすぐに行うことができない場合は、F12 を押して、プロセスをキャンセルします。できるだけ早い時期にシステムの IPL をスケジューリングしてください。
  - b. 「サインオン」画面が表示されたら、戻ってこの累積 PTF パッケージのインストールを再度開始してください (次回これらの手順を実行する際には、この画面は表示されません。)。CD メディアからインストールしている場合は、『CD メディアからのインストール』セクションの手順 1 から再度開始してください。光イメージ・ファイルからインストールしている場合は、『光イメージ・ファイルからのインストール』セクションの手順 2 から再度開始してください。
3. 「PTF 導入処理が正常に実行されなかった。」(エスケープ・メッセージ CPF3615) およびメッセージ CPF36BF (「PTF の導入処理が完了していません。技術更新 PTF のための IPL が必要です。」) を受け取った場合、以下を実行します。
    - a. システム上のすべてのジョブを終了し、B IPL ソースに対して通常モードの IPL を実行します。
    - b. 「サインオン」画面が表示されたら、戻ってこの累積 PTF パッケージのインストールを再度開始してください (次回この手順を実行する際には、このエラーは表示されません。)。CD メディアからインストールしている場合は、『CD メディアからのインストール』セクションの手順 1 から再度開始してください。光イメージ・ファイルからインストールしている場合は、『光イメージ・ファイルからのインストール』セクションの手順 2 から再度開始してください。
  4. PTF のインストールが終了したら、ステップ 5 に進みます。特別な PTF のための IPL の確認の画面が表示された場合は、
    - a. F10 キーを押してシステム上のすべてのジョブを終了し、IPL を実行します。注: IPL をすぐに行うことができない場合は、F12 を押して、プロセスをキャンセルします。できるだけ早い時期にシステムの IPL をスケジューリングしてください。
    - b. IPL が完了したら、コマンド行に GO PTF と入力して、Enter キーを押します。
    - c. メニューで、オプション 8 を選択し、Enter キーを押します。
    - d. 「PTF 導入の続行 (Continue PTF Install)」画面が表示されます。インストール・デバイスから追加の PTF をロードせずに、直前の PTF のインストールを継続するために、Enter キーを押します。
    - e. 「プログラム一時修正の導入オプション」画面でオプションを入力し、Enter キーを押します。
 

```

          装置 . . . . . *NONE
          自動 IPL. . . . . Y = YES または N = NO
          媒体のプロンプト . . . 1
          再始動タイプ . . . . *SYS
          その他オプション . . . N = NO
          
```
  5. 「自動 IPL オプション」に Y (YES) を入力した場合、システムは自動的に IPL を実行します。「自動 IPL」フィールドに N (NO) を入力した場合は、修正をアクティブにする準備ができたなら、次のコマンドを使用する必要があります。

PWRDWN SYS OPTION(\*IMMED) RESTART(\*YES) IPLSRC(B)

6. IPL が完了した後で以下の手順を実行して、累積 PTF パッケージが正しくインストールされたことを確認してください。
  - a. QSECOFR などの機密保護担当者ユーザー・プロファイルを使用してサインオンします。
  - b. 任意のコマンド行に WRKPTFGRP SF99710 と入力します。
  - c. 「状況」フィールドが「インストール済み」で、「レベル」フィールドが「17192」の場合は、ステップ 7 (8 ページ) に進みます。そうでない場合は、ステップ 6d に進みます。
  - d. 任意のコマンド行に GO LICPGM と入力します。
  - e. Enter キーを押します。「ライセンス・プログラムの処理」画面が表示されます。
  - f. オプション 50 を選択します。
  - g. Enter キーを押します。「導入履歴の表示」画面が表示されます。

- h. Enter キーを押します。「活動記録ログの内容の表示」画面が表示されます。
- 累積 PTF パッケージが正常にインストールされた場合には、PTF の適用が完了したことを示すメッセージが表示されます。ステップ 7 に進みます。
  - 累積 PTF パッケージが正常にインストールされなかった場合には、PTF の適用が失敗したことを示すメッセージが表示されます。お客様のソフトウェア・サービス提供者 (弊社ビジネス・パートナーまたは弊社営業担当員) にご相談ください。
  - 前回の IPL で異常があった場合には、ライセンス内部コードの PTF のみ適用されます (5770999)。次のコマンドを入力して、前回の IPL で異常があったかどうかをチェックすることができます。

DSPPSYSVAL SYSVAL(QABNORMSW)

IPL で異常があって、システム・インストールの直後にこのパッケージをインストールした場合には、残りの PTF を適用するためにもう一度 IPL を実行してください。

7. この時点で、通常のシステム操作を再開することができます。できるだけ早い時期に、もう一度システムのバックアップをとります。

これらの累積 PTF パッケージについてご意見および問題がございましたら、ソフトウェア・サービス提供者 (弊社ビジネス・パートナーまたは弊社営業担当員) にご連絡ください。